

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表の結果 (ぴあすてっぷ黒瀬)

事業者内職員においても施設についてのアンケートを行い、結果を簡単に取り纏めましたので、併せてご報告申し上げます。

### 【環境・体制設備】

利用定員と指導訓室等のスペースの関係性および職員の配置数に関しては、すべての職員間で適切であるという認識を持っていた。

バリアフリー化においては、必要とする利用者がないこともあり、今後必要に応じて配慮を行っていく認識である。

### 【業務改善】

ほとんどの項目で業務改善に関する評価は「はい」となっている。日常的なミーティングは、PDCA サイクルに即した形で行い、研修会についてはスキルアップも兼ねて積極的に参加し、職員間でのフィードバックも行えている。

また、アンケート結果についても随時 HP (ホームページ) で公開を行うと共に、要望に応じて紙面でも公開可能な体制を整えている。

⑦の「第三者による外部評価を行う」という点においては、「どちらともいえない」もしくは「いいえ」の回答だった。現時点では、保護者様の意向を反映させ、なおかつ公的機関や組織との連携を持ちながら業務の改善を図っているためであると考察できる。

### 【適切な支援の提供】

利用契約の段階で、保護者様のご協力を得て児童の適応行動を図ると共に各スタッフが意見を持ち寄り、日頃の気づきを含めた多角的な視野でサービス計画を策定している。

また、活動プログラムにおいては、ガイドラインを念頭におき、集団行動を主軸として、日毎に活動内容の設定変更を行うと共に内容についても事前にスタッフ間で検証や意見交換を行いながら提供を行っている。個別活動においては、個々の力量に合わせたサポートを行い、サポートが必要な点や支援を行いながら気づいた点などにおいては、出来るだけ早い段階でスタッフ間での連携が取れる工夫を行っている。

支援計画については、定期的なモニタリングおよび保護者様からの相談をもとに更新を行い、スタッフ間でも情報の共有を心がけている。

記録については、昨年同様 PC (パーソナルコンピュータ) への保存を行っている。

### 【関係機関や保護者との連携】

医療的ケアの必要な利用者がないため、具体的な体制は整えていないが、必要に応じて整えるようにしている。また、障害福祉サービス事業所へと移行する対象者がいないため、情報提供等に関しては実績がない。こちらも必要な段階に応じて準備を進める予定ではあるが、当面は生じないことと認識している。

放課後児童クラブ等との交流については、利用者が希望していないため、実施していない。ただし、長期休暇中の公園外出などを利用して、障害の有無関係なく、多くの児童と交流できる機会は設けている。

福祉協議会には、管理者が毎回出席するように調整しており、実績も伴っている。

保護者様とは、送迎時における面談や個別での面談、および連絡帳を用いて蜜に連携をとり、日常的に児童の状況や課題について共通理解をもち、保護者会では専門講師を招き、勉強会を開催するなどの支援を行っている。

#### 【保護者への説明責任等】

契約時、運営規定や支援内容については、細やかに説明を行い、保護者様からも同意を得ている。

今年度については、初回を 9 月に設定し、保護者会を開催する予定である。前年度については、春と秋に開催することで、保護者同士の連携を促した。

また、活動内容の更新は HP（ホームページ）や Web ツール、紙面を介し多様な方法で行っており、常に新しい情報を提供しつつ、どの家庭とも意思の疎通が行えるよう配慮している。

やむを得ずトラブルや苦情が生じた場合には、速やかに解決に向けた話し合いや対策を講じる体制を整えており、対応を行っている。

個人情報については、すべて鍵付き書庫に収納し、外部に漏れないよう職員一同配慮を欠かさないようにしているとともに、見学にいらっしゃる外部の方に対しても、情報漏えい防止対策を講じている。

地域住民の招待等については、利用児童および保護者が望まないため、行っておらず、今後行う予定はないが、地域の方と施設外で遭遇した際には、きちんと挨拶を行う等の配慮を行っている。

#### 【非常時の対応】

すべての項目について、対応しているという認識が職員間でしっかり存在している。また、長期休暇を利用して、児童も含めた実践的な訓練を行うことで、非常時に混乱をきたさないよう配慮している。

食物アレルギー有無については、定期的に情報収集を行い、情報更新を行っている。

虐待防止については、研修会への参加を積極的に促し、すべての職員が明確な意識を持って職務に当たっている。